

わ 輪

っしょい!

いちのせき
協働ニュース

2018年1月
vol.14



2016年10月の希望郷いわて国体に合わせ、幅30m×高さ3mの国体歓迎横断幕を作成。この横断幕は、東山の地域協働体（長坂みらい塾、田河津振興会、いわて松川やくにたつ会）が共同で作成しました。お披露目会では、園児や関係者約100名が集まり、万歳三唱しました。

たいしたもんだ長坂みらい塾

会長：鈴木 正敏 メールアドレス：nagaskamj@echna.ne.jp

お問い合わせ先
電話：0191-47-2243
東山市民センター

地域づくりは仲間づくり

長坂地区の地域協働体設立に向けて平成27年3月に検討委員会を立ち上げ、同年7月に設立準備会に移行し、平成28年4月に「たいしたもんだ長坂みらい塾」が誕生しました。

本会の特徴は会議の持ち方にあります。会議は年間10回前後で、全代議員を招集し、同じ議題を部会ごとに協議し、最後に協議内容を発表し合います。

また、事業を行う際は、部会ごとに作業を分担し、部会内で責任を持って対応するというやり方が定着し、スムーズな運営ができています。

会議や事業を進めるうちに会員の仲間意識も強くなり、皆で楽しみながら事業の開催にあたっています。



「げいび小唄」が復活したサマーフェス

平成28年度事業

- ロゴマーク&スローガンの募集・選定
- 日本一の国体歓迎横断幕の作成
- 「中秋の名月を愛でる会」を開催
- SG^(※)ベストの作成・貸与式の開催

平成29年度事業

- 地域の宝「人材バンク登録事業」の実施
- 「世界に一つだけの花」発信事業
- 「サマーフェスティバルinながさか」の開催
- 第2回「中秋の名月を愛でる会」を開催

(※)「SG」は「セーフティガード」と「さんぽグループ」の意味。



中秋の名月を愛でる会

地域の新しいシンボルとして

東山地域には、この地球上で狛鼻溪内で見ることができないとされる花「ゲイビゼキショウ」が生育しています。

この花を「世界に一つだけの花」として発信し、新たな地域の宝・地域のシンボルとして活用していきたいと考えています。



ゲイビゼキショウ

いちのせき協働ニュース 輪っしょい!の発行にあたって

本紙では、特色ある地域協働の取り組みや、市民センターの「熱い」取り組みなどを紹介します。

*地域協働とは、地域の自治会、消防団やPTAなど各種団体、市民、民間事業者（企業）等の多様な主体が、一定の地域において互いに、又は行政と、地域の特性や課題などを共有した上で、役割分担しながら、地域課題の解決や地域の実情に沿って地域づくりを進めるしくみです。



ひかり 白花里の郷日形

会長：小野寺 友雄

問い合わせ先
電話：0191-82-1010
日形市民センター



日形地区割山で実施した「環境整備事業」

協働のまちづくりへ向けて活動本格化

白花里の郷日形は、日形地区民が協力し合い、明るく豊かで住みよい地域を目指して平成27年2月に設立されました。現在は地域協働体が中心となって開催する「日形夏祭り」「日形秋祭り」などの地域交流イベントをはじめ、さまざまな活動を行っています。特に旧日形小学校周辺（通称：日形ジャルダン）や日形の玄関である割山などで実施している「環境整備事業」は、年間を通して力を入れている事業です。

会長からひとこと

まちづくりは地域の皆が一緒に手がけ、皆が力を合わせて、手繰れば所期の目的を引き寄せる事ができると確信します。サア皆でやりましょう。



日形秋祭り 芸能発表

事務局員からひとこと(佐竹恵美さん)

日形には魅力のあるところが、まだまだたくさんあります。毎月発行の「きらり☆ひかた」を通して情報発信し、地域の皆さんと一緒に地域づくりに参加していきます。



川崎まちづくり協議会

議長：金野 健男

問い合わせ先
電話：0191-43-3112
川崎市民センター

川崎まちづくり協議会の概要

平成23年3月に設立された川崎まちづくり協議会は、自治会連絡協議会、女性協議会など団体の代表者や20代から80代までの個人会員あわせて41人の会員で活動をしています。

犬のフン対策啓発看板を設置しました

平成29年7月11日に北上川堤防の左岸側の河川公園付近など6カ所、砂鉄川堤防の左岸側の門崎橋や鶴巻橋付近など5カ所の計11カ所に設置しました。また、9月11日には、川崎あじさい公園入口1カ所に設置しました。今後は、関係者と協議しながら、千厩川左岸堤防の市道脇の私有地にも設置したいと考えております。

ペットの飼い主の皆さんのより一層のマナー向上に期待します。



犬のフン対策看板設置作業

皆さんの声を集める仕組みづくり

川崎まちづくり協議会では、「まちづくりポスト」を川崎市民センターや一関市役所川崎支所など、5カ所に設置しています。寄せられた意見は、全体会で話し合い、議会（役員会）で意見をまとめて関係者等へ提案するという形で、地域づくりに皆さんの意見を反映させています。寄せられた意見と検討結果は、引き続き情報紙「かわちゃんアンテナ」で地域の皆さんにお知らせしています。

現在テーマは設けていませんが、今後地元に関するさまざまなテーマを設けて、意見を募集したいと考えています。

これからも、「まちづくりポスト」を活用しながら、自分たちが取り組める範囲で、地域課題解決や情報発信に取り組んでいきたいと思っております。



川崎市民センターに設置している「まちづくりポスト」

きらり★輝く

FILE.
1

きらりと輝く地域づくりに
取り組んでいる方々や団体等
をご紹介します。

一関を面白く企む会

【お問合せ先】 一関を面白く企む会 代表 櫻井 陽
Facebook 「一関を面白く企む会」

*ご連絡お申込みはFacebookページからメッセージをお送りください。



11back@ichinosekiで
交流を深める参加者



★自分のまちを自分たちで楽しく過ごせるように

職場でもなく、家族でもなく、若者たちの新しいコミュニティを作り、若者のチャレンジを後押しするため平成29年に結成。以来、20代の若者を中心に、メンバー自らが考えた「面白い」企画を他のメンバーが支える形で実現してきました。7月には、お祭り以外でもゆかたを着る機会をつくりたいと「ゆかたで街歩き」を実施。20名の若者がゆかたで錦町～地主町を散策しました。他にも、地域で活躍している方を招いての交流会を開催し、チャレンジのための出会いの場を創造しています。

♥まず「半歩」踏み出してみませんか。

平成29年11月から毎月11日午後7時にJR一関駅前の一BA (いちば) にて、「11back@ichinoseki」というご飯を囲んだ交流会を開いています。まずは、ゆるいつながらりから、面白いことを考えてみませんか。ここには「やってみよう」を応援してくれる人がいます。

waraSTAR's

【お問合せ先】 waraSTAR's 代表 小野寺 伸吾
TEL 050-5215-0730
Facebook : [waraSTAR's]



★「幸せのかたちをデザインする」をモットーに活動

waraSTAR'sは平成27年5月に大東町のメンバーを中心に、町を盛り上げていく為に何が出来るかを考え、実行していくために集まりました。市長、市議会議員との懇談、東北経済産業局の職員を招いてのRESAS(※)の利用の勉強会、大原の歴史勉強会、先進地の視察研修、お祭りの出店、水かけ祭りバスツアー、地元企業の工場バスツアーの開催、映画会などの活動をしています。(※)RESASとは、地域経済分析システムのこと。

♥いつまでも子どもの気持ちを忘れずに

waraSTAR'sは「わらす(子ども)」と「STAR(星)」をあわせてます。子どもは地域の宝であり、我々もいつまでも子どもの気持ちを忘れず輝ける未来を目指しています。

畳のへりを使った
くるみボタンづくりの
取組



お お だいら

大平そば愛好会

【お問合せ先】 大平そば愛好会
代表 佐藤 千宏
TEL 0191-51-2005

千厩町内小学生による
そばの種蒔き体験



★休耕地を活用したそばの栽培による手打ちそばの普及

休耕地を活用して、子どもたちと一緒にそばを栽培し、手打ちそばの普及を目指しています。地域イベントの開催やそば打ち体験、施設訪問や震災被災地へのボランティア活動等を行っています。

♥多くの人にそばの提供を

活動も多くのの人々に認識されつつありますが、今後は他地域からの集客による活性化も必要とされ、新たな検討も求められています。13名の会員も高齢化する中、時間も惜しまず積極的に活動しており、更に地域活性化に取り組んで参ります。

あなたの参加が地域づくりへの第一歩。地域への参画を通じて、魅力あるまちづくりを進めていきましょう！

第3回 **市民センターの今、ココが熱い!** アツ 山目市民センター編

今回の「ココ熱」 『おはなしフェス』

平成29年11月18日、子育ての場面における男女共同参画推進を目的に、山目地区まちづくり協議会生涯学習部会が企画した「おはなしフェス」が一関学習交流館を会場に開催され、子どもから大人まで60人が参加しました。

第1部 「ママの悩み解決!」



参加者の前で公演する
後藤大平さん

第1部は、講師の後藤大平さんと「ママの悩み解決!」をテーマに講師自身の子育て体験を踏まえて一緒に話し合いました。「ワンオペ(※)育児で自分の時間を持ってない」「夫が亭主関白で家事をしない」「家事の分担方法は」などの悩みに、後藤さんから「パパのスイッチを入れることが大事」「家事は全て一度書き出して話し合いを」などのアドバイスがありました。参加者からは、「家でも実践してみたい」などの感想がありました。(※)一人で全てをこなす状況

主催者からひとこと

山目地区まちづくり協議会
生涯学習部会会長

千葉 幹雄 さん

昔は大家族が多く、親は子供を家族に預けて仕事に精を出せましたが、これからは、夫婦2人だけが苦勞するのではなく、地域の人も巻き込んだ、子育ての環境をつくっていききたいと思います。



第2部 「マジックショー」

子どもたちの歓声とともに「一関マジックの会」が登場!子どもたちはワクワクした表情から驚きと笑顔に。

マジックに続いてのバルーンアートにも興味津々。子どもたちは、次々とリクエストし、お気に入りのバルーンアートを作ってもらいました。



マジックに大盛り上がり

第3部 「絵本ライブ」



絵本をみんなで楽しみました

第3部は、「オンサンデイズ」が登場。巧みな話術とリズムで絵本を読むと子どもたちも夢中。

特に「ぴょーん」の合言葉に子どもたちも一緒に「ジャ〜ンプ」。

親子そろって楽しい時間となりました。ママたちのちょっとした息抜きになったようです。

やまのめグラウンド・ゴルフ大会



第2回やまのめグラウンド・ゴルフ大会参加の皆さん

山目地区まちづくり協議会では、地域住民の交流を目的としてさまざまな事業に取り組んでいます。平成29年11月4日には「第2回やまのめグラウンド・ゴルフ大会」が開催され、20代から90代までの55名の方々が集い、交流と親睦を図りました。

主管した体育振興部会長の千葉一男さんは、「来年、再来年も全員が元気で、この大会も100回を目指して頑張りましょう。」とあいさつし、閉会しました。

【お問合せ先】 山目市民センター（山目地区まちづくり協議会） TEL 21-2104 FAX 21-2103 ホームページ：<http://yamanome.com/>

